

福島民報

2013 (平成 25) 年
12月30日
月曜日

発行所
福島民報社
福島市太田町13-17
(郵便番号960-8602)
電話代表 (024) 531-4111
編集局531-4122 広告局531-4153
事業局531-4173 販売局531-4175
購読のお申し込み
☎0120-373437



日本酒の正統、生酛造り

大七

www.daisichi.com

JAPANESE SAKE
DAISHICHI
SINCE 1752



「みんながいなければ、やってこれなかった。自慢の従業員だ」。富岡町の田中合名会社富岡給油所の阿部正男所長(左)は、白い息を吐きながら働く姿に心の中で感謝した。三十日で今年の仕事を終え、一月五日に再開



「町の復興のため営業を続ける」と誓う阿部所長(左)と従業員

する。「家族の元で骨を休め、新年への英気を養ってほしい」。一人一人をねぎらった。

給油所は六号国道沿い

く営業を再開した。「がれきの撤去や行方不明者の搜索で重機が必要だ。燃料不足で動かせない」とい一本の電話がきっ

かけだった。周辺の居住制限区域で、町民が普段通りに訪れるようになるのは、まだまだ先だ。だからこそ、阿部所長の決意は固い。「給油が遅れば復興も遅れる。多くの住民が戻る日まで、仕事を続ける」

絆結ぶ富岡の給油所

にある。町の南の玄関口。阿部所長と従業員四人だ。除染や復旧工事車両は、避難先のいわき市かをはじめ、一時帰宅したから一時間余りかけて通勤する。家族と離れ離れの町民らが給油する。東京電力福島第一原発事故が発生した数日後、いち早く、工事関係車両約八十

セシウム濃度を調べた。計五百五十八カ所から指
定廃棄物に相当する放射性セシウムが検出され

